

**JR川崎駅から各クリニックまで
シャトルバスを運行しております、
ご利用ください。**

バスをご利用の方は、
必ず **マスク** をつけてください。

**現在、川崎幸病院経由のシャトルバスの運行は、
全便運休しております。**

**川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニック
西口シャトルバスのりば（一般車乗降場）**



1周約20～30分間の循環運行

川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニック

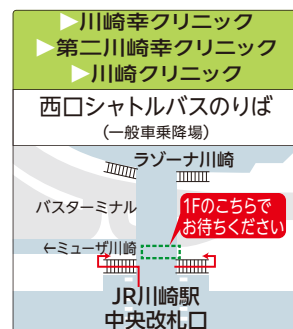
<時刻表>（平日・土曜午前 ※土曜午後、日曜、祝日は運行なし）

	乗り場	月曜日～金曜日	土曜日
始発	JR川崎駅西口	8:15	8:15
最終	川崎幸クリニック	16:40	13:00
	第二川崎幸クリニック	17:00	

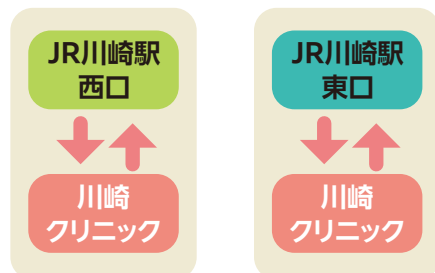
※ご利用される方々の状況により、到着時間が遅れる場合があります。
※道路状況・利用状況により、所要時間が変わる場合があります。



**シャトルバスは定員 9 名の
ワンボックスカーです。**



**川崎クリニック
西口・東口シャトルバスのりば（一般車乗降場）**



川崎クリニック ◀▶西口 川崎クリニック ▶▶東口

運行は月～土曜日（祝日含む）、日曜日は運行していません。

時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8		15 45		15 30 45
9	この時間帯は運行していません			
12				
13	30	45	20 40	30 50
14	00 30		00 20 40	
15	00		00	

※シャトルバスのご利用条件は、川崎クリニックにて外来受診した方および透析患者様
となっています。 バスのみの利用はご遠慮ください。※川崎クリニック発西口シャトルバ
スをご利用の方で、川崎幸病院、川崎幸クリニックへご受診の方は、途中下車が可能です。
運転手にご用命ください。※川崎クリニック発のシャトルバスは1F薬局側からの出
発となります。出発前に御声掛け致しますので1F薬局横の待合室にてお待ちください。

※ご利用される方々の状況により、乗車できない場合があります。
※道路状況・利用状況により、所要時間が遅れる場合があります。
※満員の場合は出発時間を待たずに発車する場合があります。

救急・急性期医療・放射線治療・透析治療

川崎幸病院

TEL:044-544-4611(代)

一般外来

川崎幸クリニック

外来予約:044-511-2112

透析治療・一般外来

さいわい鹿島田クリニック

外来予約:044-556-2722

脳神経外科他

新緑脳神経外科

TEL:045-355-3600

一般外来・入院診療

横浜石心会病院

外来予約:045-581-1417

一般外来

第二川崎幸クリニック

外来予約:044-511-2112

人間ドック・生活習慣病健診

アルファメディック・クリニック

予約:044-511-6116

在宅事業部

在宅医療・在宅看護・在宅介護

さいわい訪問看護ステーション

新川崎居宅介護支援事業所

福祉用具レンタルさいわい

かしまだ地域包括支援センター

一般外来・入院診療

川崎地域ケア病院

TEL:044-544-6111

透析治療・一般外来

川崎クリニック

外来予約:044-222-9259

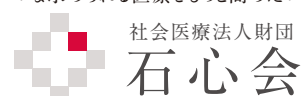
透析センター:044-211-6500

生活習慣病健診・一般健診

川崎健診クリニック

予約:044-511-6116

いま求められる医療をもっと高めたい



社会医療法人財団

石心会

川崎幸病院／横浜石心会病院／川崎地域ケア病院／川崎幸クリニック／第二川崎幸クリニック／川崎クリニック／さいわい鹿島田クリニック／新緑脳神経外科／アルファメディック・クリニック／川崎健診クリニック／
石心会グループ在宅事業部 発行責任者・編集長：杉山 孝博 〒210-0024 川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進ビルディング3階 電話：044-381-3366(代) Web：https://www.sekishinkai.or.jp/

石心会
グループ
神奈川地区
広報誌

あおぞら

特集

「乳がん」

～知ること・気づくことが、
自分を守る第一歩～

2026

秋号

ご自由にお持ちください

「乳がん」

～知ること・気づくことが、自分を守る第一歩～



日本人女性の乳がん罹患数は「102,592例(2023年)*」と、日本人女性が罹るがんの中で最も多く、9～11人に1人が罹る非常に身近な存在です。

その原因は、女性ホルモンの影響、生活習慣、遺伝的要素など様々な要因が考えられますが、早期発見が早期治療に繋がることには変わりありません。

本号では、第二川崎幸クリニック 乳腺外科部長 / プレストセンター長の木村芙英医師に、「乳がん」について知っておきたいことを伺いました。

※出典：がん情報サービス



第二川崎幸クリニック
乳腺外科部長 / プレストセンター長
木村芙英 医師

同じ女性として女性に寄り添うために

「乳がん」患者さんの99%は女性です。(男性は全乳がん患者の約1%)

私が外科医師になった時は、女性医師が少ない時代でした。そのため、同じ女性として女性の疾患を診ることは、患者さんに近い目線を持ち、寄り添うことができるだろうと考えて乳腺外科を専門にしました。

「しこりがないから大丈夫」ではない

「乳がん」が見つかるきっかけは、

・乳がん検診

・ご自身で胸の変化に気づく

この2つがほとんどです。

乳房の硬さや変化に気づいたら、検診を受けたばかりでも受診をしていただければと思います。「乳がん」には進行の速いタイプもあり「去年は異

常なしだった』という方でも、その後に発症することがあります。

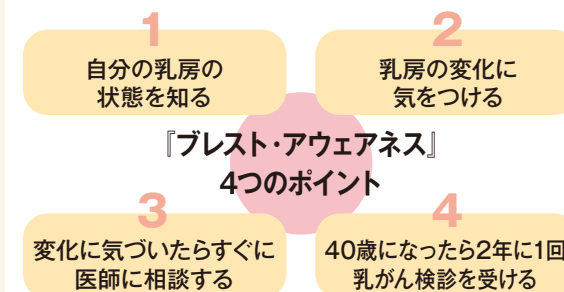
また「マンモグラフィ」と「超音波検査」を組み合わせた検査をお勧めしています。それぞれ得意とすることが異なりますので、組み合わせることで、より精度の高い結果に結びつけられます。

胸の変化は、しこりだけではありません。乳房の硬さや大きさ、皮膚の変化、乳頭からの分泌もサインとなります。「しこりがないから大丈夫」と思い込まず、少しでも気になる変化があれば受診をお勧めします。

自分の胸に関心を持つ『ブレスト・アウェアネス』

普段から自分の胸に関心を持ち、変化に気づくことも大切です。

この考え方を『ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)』と言います。



早期発見は、「命」だけでなく「生活」を守ること

「乳がん」は早期に発見できれば、

- ・手術のみで治療が終わる
- ・抗がん剤が不要になる
- ・入院期間が短くなる

など、治療の負担を軽減できる可能性があります。早く見つけることで、仕事や家庭を続けながら治療できる可能性が増えます。

「乳がん」になりやすい年代である40～50代の方は、家庭でも職場でも中心となって活躍する方が多い世代です。だからこそ、『生活を守るための早期発見』がとても重要です。

患者さんと一緒に考える

乳がん治療には、『手術』『薬物治療』『放射線治療』などがあり、それらを組み合わせて行う場合も多くあります。

しかし、患者さんの年齢や環境、ご自身の価値観によって、最適な治療は変わります。

最近では、医師と患者さんの関係において「インフォームドコンセント(説明と納得)」から「シェアード・ディシジョン・メイキング(共同意思決定)」へ考え方が変わりつつあります。

私も「どの治療を受けるか」を医師だけが決める時代ではないと考え、患者さんご自身の人生や希望も含めて、一緒に治療を考え、選ぶことを重視しています。

「がん」治療は長いお付き合いとなりますので、医師として患者さんと伴走できればと考えています。

検診から治療まで切れ目なく支える

第二川崎幸クリニックでは、診断、必要に応じて川崎幸病院で手術を実施し、その後の薬物治療や経過観察まで行っています。

地域に密着したクリニックですので、気になることがあったら迷うことなく一歩を踏み出し、実績が豊富な当院にお越し頂きたいです。

また当院と同じ石心会グループの健診施設(アルファメディック・クリニックや川崎健診クリニック)とも結果を共有しながら、診断、治療へとスムーズにつなげることもできます。

メッセージ

胸の変化に気づいたら、『様子を見よう』ではなくまずは相談をしてください。

普段から自分の胸に関心を持ち、気になる変化があれば早めに受診していただくことが、ご自身だけでなく、大切な家族や周囲の方の日常を守ることに繋がります。

「症状がない」からこそ 検診でチェック

「忙しい今だからこそ、自分のために検診の時間を」

「乳がん」は40代から増え始める一方、子育てや仕事、親の介護など、最も忙しい時期とも重なります。

検診を受けたいと思っていても、自分のことは後回しになってしまう方は少なくありません。

しかし、木村医師もお話しているように「早期発見・早期治療」につながりますので、忙しい今だからこそ、自分のための時間をとり、検診を受けることが大切だと考えています。

検査方法は「マンモグラフィ」と「超音波検査」

乳がん検診は、しこりや痛みなどの症状が現れる前に受けることが大切です。



実際に検診をされる方からは、『マンモグラフィだけで良いのか』『超音波検査も受けた方が良いか』という質問を頂くことがあります。

「乳がん」には様々なタイプがあり、検査によって見つけやすい病変が異なります。

『マンモグラフィ』は、乳房を圧迫し、乳腺を広げて乳腺組織の重なりを少なくして撮影するX線検

アルファメディック・クリニック
藤村聖子
臨床検査技師

査で、石灰化など初期の変化を見つけることに優れています。一方、『超音波検査（乳腺エコー）』は、乳腺の中にできるしこりを詳しく観察することが得意です。

どちらか一方が優れているのではなく、お互いを補い合う検査です。「マンモグラフィは痛そうだから…」そのような理由でためらう方も少なくありません。『超音波検査』は乳房を圧迫することがなく、痛みが少ない検査です。また放射線を使わないため、妊娠中でも受けることができます。

ですので、乳がん検診に『乳房超音波検査』を組み合わせてみるのも一つの方法です。検査を受けること自体が大切な一歩となり、習慣となるきっかけにもなります。

私も定期的に受けています

私は受診者さんへ『私も定期的に受けています。またお待ちしております！』と伝えることが多くあります。

医療従事者であっても、「乳がん」になる可能性は皆さんと同じですので、私自身も検診を欠かさず、その実感を持って受診者へ向き合っています。

あなたのため、そして、大切な人のために

アルファメディック・クリニックでは、一人ひとりの不安に寄り添いながら、その人に合った検診をサポートしていますので、よろしければ是非ご利用ください。

川崎地域ケア病院 新院長インタビュー

川崎地域ケア病院 後藤学 院長



川崎地域ケア病院の新院長に後藤学医師が就任いたしました。

後藤院長は長年、川崎幸病院で副院長として救急医療の最前線に携わっておりました。

後藤院長に川崎地域ケア病院が地域で担う役割と今後の展望について伺いました。

川崎幸病院と連携して 救急患者さんを診る病院へ

当院は、2025年6月に、地域の皆さんに長年愛されていた田村外科病院を社会医療法人財団石心会が譲り受けて開院いたしました。同じ石心会グループには川崎幸病院があります。

田村外科病院の時には、外来患者さんが多かったのですが、当院は救急患者さんを多く受け入れている川崎幸病院と兄弟のような関係にある病院になります。そのため、救急患者さんの容態によって、川崎幸病院と役割を分けながら、連携して主に内科系疾患の患者さんを診る病院へと徐々に変わっていきます。

川崎幸病院と川崎地域ケア病院の2病院で、地域の救急患者さんの受け入れ体制を強化することで、地域の皆さんにはより安心を提供できるのではないかと考えています。





「リハビリ」という強み

高齢者の患者さんは入院すると、疾患の治療が行われても、身体機能が低下しやすくなります。早い段階からリハビリを始めることが大切です。当院では、充実した「リハビリ」プログラムと、広いリハビリ室を設けています。専門スタッフの理学療法士などが、退院に向けて患者さんそれぞれにプログラムを作り、サポートをいたします。

地域の皆さんへ

このエリアでも、高齢化が進み、肺炎や尿路感染症、脱水など内科的な救急を必要とする高齢者は増えています。また、救急ではないものの、様々な疾患を持つ患者さんも増えてきています。

当院では、川崎幸病院と共に、主に高齢者の救急患者さんを受け入れ、治療とリハビリを行い、住

み慣れた生活へ戻るまでを支えていきます。

また、それ以外の様々な疾患については、外来クリニックである、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックで、地域の皆さんの治療をサポートいたします。もし救急対応しなくてはならない場合は、川崎幸病院や当院がバックアップできればと思います。

この地域の幅広い世代の皆さんに、より安心して生活して頂けるように、石心会グループは医療が提供できる体制をより強く築いていきたいです。



私の街紹介

KID'S DANCE LESSON 「37 bloom」

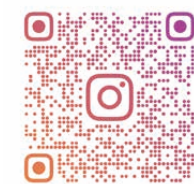
37 bloomは、子どもたちの「やってみよう！」を応援します。

ジャズヒップホップやK-POP、シアターダンスなど幅広いジャンルのダンスを、子どもたちの好きな音楽に合わせて毎週楽しくレッスンしています。

挨拶等の礼儀やダンスの基礎を大切にしながらダンススキルを身につけていきます。

講師は、アニメや劇団四季の舞台、タップダンスの映画にも出演経験があり、やさしく丁寧な指導を心掛けています。

少人数制なので、初めての習い事でも安心です。年に数回、イベント出演の機会もあるので「人前で踊るワクワク」も味わう事ができます。大人クラスや体験レッスンも実施中です。



37_BLOOM

【サイト情報】

「37 bloom」Instagram



曲 病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

「みんなの健康塾ちゃんねる」情報

みんなの健康塾ちゃんねるは、地域の皆さんの健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、また医療を身近に感じていただくことを目的に、健康・医療の情報発信をしております。

Webサイトでは動画の他、トレーニングやレシピを掲載した冊子、学校向けダウンロード教材をご覧ください。また毎月「みんなの健康塾ちゃんねるポケット版」を定期的に発行しております。

WEB 詳細はこちら

みんなの健康塾ちゃんねる 検索



公式LINEは
こちら



注目のコンテンツ



股関節手術
～タイミングと治療法～

横浜石心会病院

股関節外来・手術担当

小林 直実 医師

(横浜市立大学附属市民総合医療センター 診療部長 診療教授)



役に立つ
情報が
いっぱい